

西荒屋小学校だより

9月学校評価号

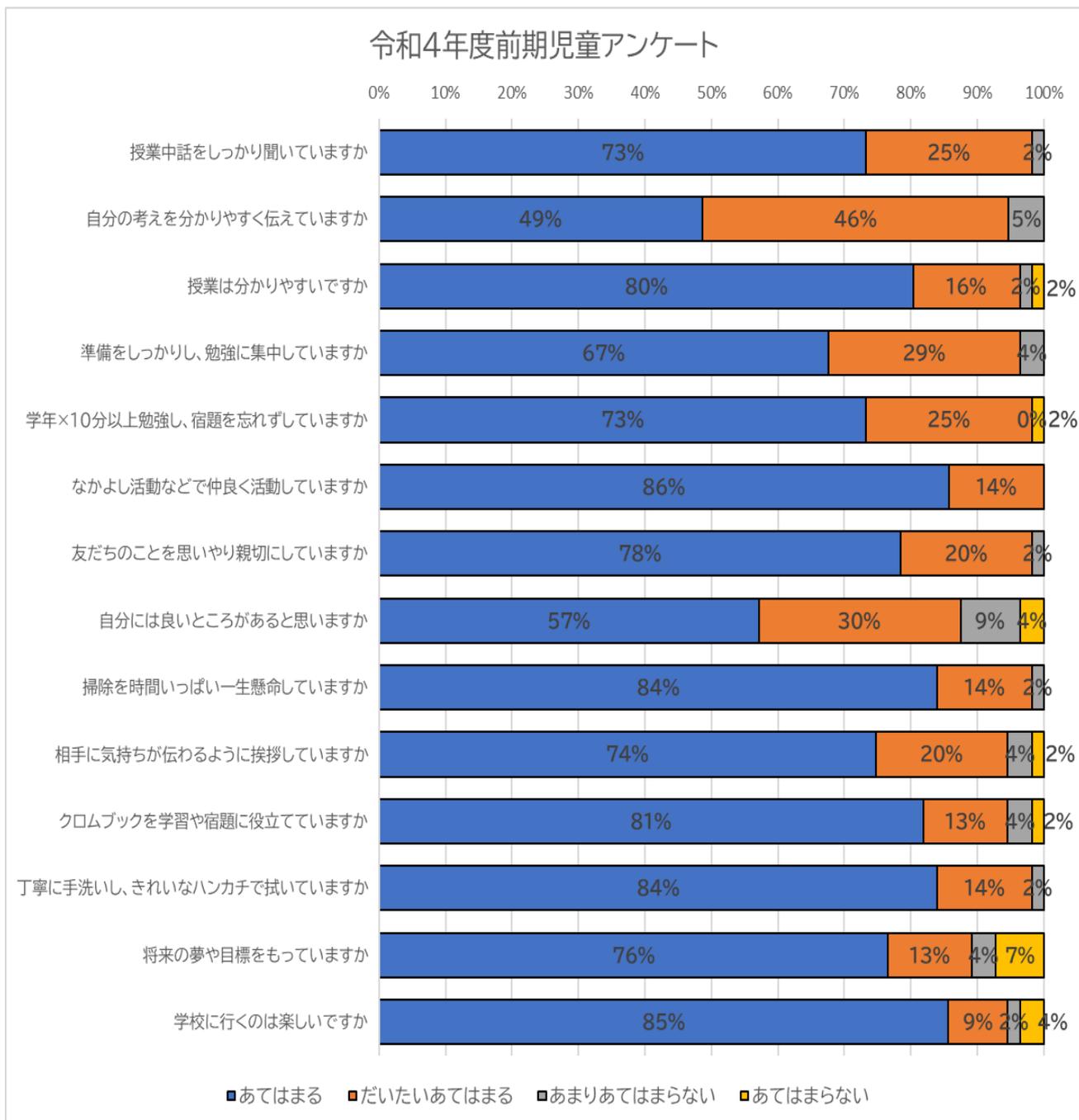
校訓 「至誠」

教育目標 「豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」

令和4年9月14日 西荒屋小学校

前期学校評価アンケート結果について

保護者の皆さまには、ご多用の中アンケートにご協力をいただきありがとうございました。
前期の児童アンケート・保護者アンケート結果を以下のとおりご報告いたします。



◎肯定的評価の割合が高い項目(A評価が80%以上になっている項目)

・「授業が分かりやすい」の項目が A 評価80%となっています。言うまでもなく学校の最も大切な役割は子ども達に学力をつけることです。その際、授業の質は重要な要素です。子ども達に「授業が分かりやすい」という評価を受けることは、教師にとって大変嬉しいことです。ただ、4%の児童は「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えています。全ての児童が「分かった」「できた」を実感し、「学習することが楽しい」「もっと学びたい」と思える授業を目指し、日々努力をしています。

・「委員会活動やなかよし活動で、チームの人と協力してがんばっている」の項目が A 評価86%となっています。本校のよさは、児童数が少なく児童一人一人がお互いをよく知っていることです。児童自身も本校のよさとして認識しているところです。それが大変よく現れている結果だと思えます。この項目に関しては、否定的な回答はありませんでした。今後も児童がお互いを認め合い、良好な人間関係がより深まるような活動を工夫し取り組んでいきます。

・「そうじを時間いっぱい一生懸命している」の項目の A 評価が84%でした。本校は進んで働く児童が多く見られます。勤労意欲の高い児童です。実は学校教育に「掃除」を取り入れているのは日本だけだそうです。他国では「作業」であり「仕事」であるとのこと。では、なぜ日本の学校で「掃除」の時間を設けているのかということ、社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解を目指してのことです。そこには次のようなねらいが設けられています。それは、清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要なことについて主体的に考えて行動することです。つまり、キャリア教育の視点です。「みんなのために」「誰かのために」進んで働くことができる児童を育てていきたいと思っています。

・「クロムブックを学習や宿題に役立てている」の項目の A 評価が81%となっています。コロナ禍のため GIGA スクール構想が前倒しとなり、一人一台端末の整備がなされて2年目となります。本校児童はすでに自在に使いこなしています。教職員も、授業の中での効果的な活用方法について研修を進めているところです。学習道具の一つとしてさらに効果的な活用方法を探っていきたいと考えています。

・「丁寧な手洗いの後、きれいなハンカチでふいている」の A 評価が84%と高くなっています。コロナ対策としてしっかりと取り組まれていることは大変良いことであると感じています。今後も、手洗いに限らず、感染症対策を徹底していきます。

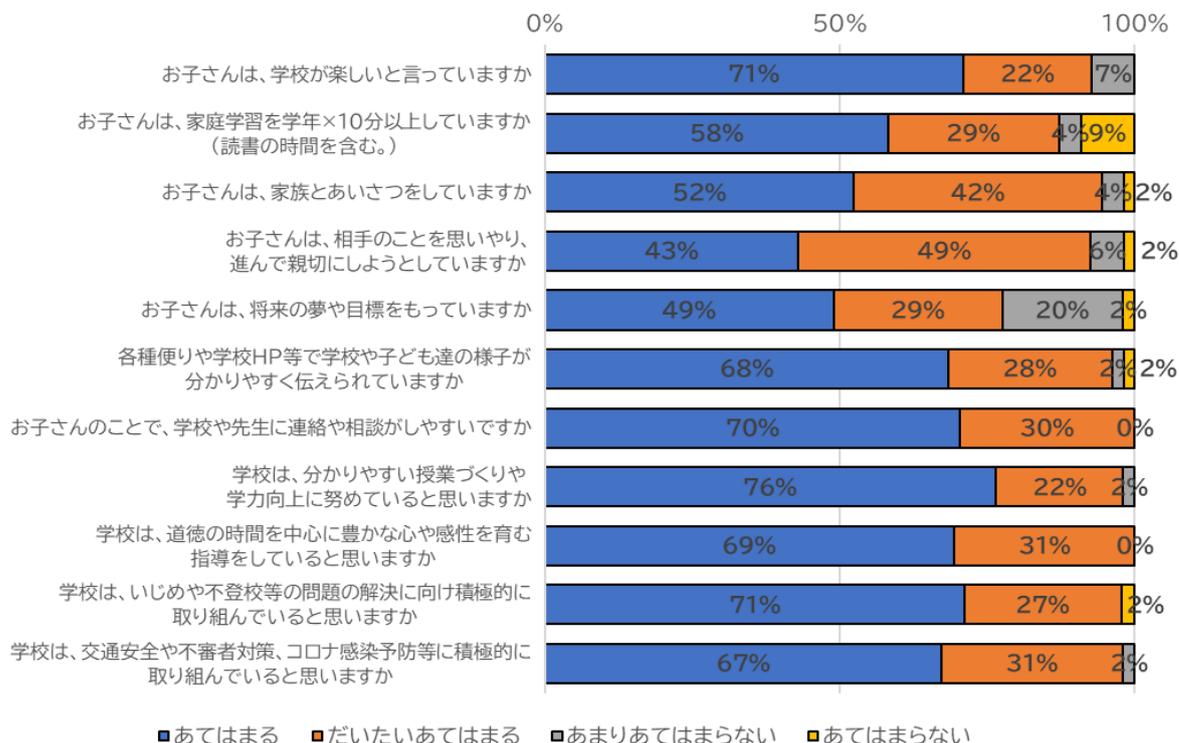
・「学校に行くのが楽しい」の項目が A 評価86%と大変高くなっています。何よりも嬉しい評価です。しかしながら6%の児童が否定的な評価をしており、それらの児童へのケアの必要性を感じます。一人一人の児童に目を向け、どの児童も伸び伸びと学校生活を送ることができるよう、ようより一層努力して参ります。

■肯定的評価が低い項目

今年度前期結果では、A評価+B評価で90%未満になっている項目はありませんでした。児童が、学校生活を前向きに捉えていることは、とても嬉しいことです。

しかし、「自分の考えを分かりやすく伝えている(A 評価48%)」「自分には良いところがある(A 評価57%)」と、自信のなさや自己肯定感の低さが感じられる項目があります。今後、より一層一人一人の児童の良さに目を向け「褒め、認め、価値づける」ことを大切にし、自己肯定感を高められるよう努めていきます。

令和4年度前期保護者アンケート



◎肯定的評価の割合が高い項目(A評価+B評価で95%以上になっている項目)

・「各種便りや学校 HP 等で学校や子ども達の様子が分かりやすく伝えられている(97%)」「お子さんのことで学校や先生に連絡や相談がしやすい(100%)」と、高い評価をいただいています。学校と保護者の皆様とのお子様についての情報共有がうまくできているためであると捉えています。学校と家庭の連携は、子ども達の健やかな成長に最も大切な車の両輪であると考えます。今後もこまめな HP の更新、また、より相談しやすい学校を目指し努力して参ります。

・「学校は、分かりやすい授業づくりや学力向上に努めていると思う(98%)」「学校は道徳の時間を中心に豊かな心や感性を育む指導をしている(100%)」と学習指導の面についても高評価となっています。学力をつけることは学校の大切な使命です。今後も子ども達の学力の向上に、また道徳的実践力を高めることに今後も尽力いたします。

・「学校はいじめや不登校等の問題の解決に向け積極的に取り組んでいる(98%)」「学校は交通安全や不審者対策、コロナ感染予防等に積極的に取り組んでいる(98%)」の項目につきましても高評価となっています。「いじめや不登校」の問題、「安全対策」共に、子ども達の安心・安全を考える上で重要な部分です。子ども達が安心して学べる学校となるよう、地域の皆様とも連携しながら努めて参ります。

・「お子さんは家族と挨拶をしていますか(95%)」の項目も高い評価となっています。挨拶は最低限の礼儀であり、大人になっても続く大切な習慣です。挨拶ができないと、相手からよくない印象をもたれることもあります。小さなころから挨拶をし、社会性を身につけることは大変重要であると考えます。ご家庭で「挨拶」の習慣が自然に身につくよう、引き続きお声かけをお願いいたします。

■肯定的評価が低い項目・気になる項目

・「お子さんは将来の夢や目標をもっていますか」の項目が A+B 評価で78%、C+D 評価2%と、若干低い評価となっております。「将来の夢」となると「職業」をイメージしてしまうこともあり、小学生の段階で「そこまで考えていない」ということではないかと思えます。実際そのように捉えておられる保護者の方も多いのではないのでしょうか。

この設問については、「子ども達が目指す目標をもつ」というイメージでいいのではないのでしょうか。「自分はこんなことが得意だ」「自分にはこんないいところがある」「もっとこれが上手になりたい」「もっとこんなことができるようになりたい」とう思いをもつことがキャリア教育の入り口ではないかと考えます。児童アンケートの結果では、A+B 評価が89%と、保護者アンケートの結果と若干の解離が見られます。おうちの方にお話をしていないだけで、実は夢や目標をもっている場合もあるのではと思います。是非ご家庭で、お子様と一緒に「将来」についてお話をいただき、お子様の長所や短所を一緒に考え、「将来こんな自分になりたいな」と思える目標をもつ手助けをしていただけたらと思います。それが、将来的に目指す職業にもつながっていくように思います。

・「お子さんは家庭学習を 学年×10 分以上していますか」の項目は A+B 評価で87%とまずまずの結果です。しかしながら、C 評価+D 評価の割合は1割以上となっております。9割近くの子ども達に家庭学習の習慣がついているということが言える一方、残り1割の子ども達にはまだ十分に家庭学習の習慣がついていないということになります。「家庭学習」が「習慣化」されていることは、学力の向上に大きく作用します。「習慣」ということは「歯磨き」と同じです。「食後に歯を磨かないと気持ち悪い」「朝起きて歯磨きをしないと気持ち悪い」というのは「歯磨きが習慣となっている」ということです。考えなくても行動できるのが「習慣」です。そうなるまでには繰り返すことが大切です。「歯磨きするように勉強する」ことができると、勉強が習慣になると言えると思います。「寝る前に勉強していないと気持ち悪い」と思えるよう、お声かけをお願いします。

・「お子さんは学校が楽しいと言っていますか」の項目の C 評価が7%となっております。言うまでもなく学校は「すべての子ども達にとって楽しく過ごせる場所」であることを目指しています。7%の子ども達が「学校が楽しくない」という思いをもっていることは、大変残念なことです。お子様が悩んでいる様子がある、登校しぶりが見られる等、気になる様子がございましたら学校までお知らせください。是非一緒に考えていきたいと思えます。

◆ご意見等◆

○小規模校だからこそできる活動の継続と、感染予防がきちんとできる範囲内での課外活動や交流活動を行って、学力以外の社会性などが身につけていけると、いいなと思えます。

■ご意見、ありがとうございます。昨年度は夏期休業中に様々な体験活動を企画しておりましたが、今年度についてはコロナウイルス感染症の心配もあり、企画することができませんでした。今後、授業の中で様々な体験活動、交流事業を取り入れていきます。

○日頃から子どもたちを一生懸命見ていただき大変感謝しております。子供も悩みもなく勉強や遊びに夢中なようで親として微笑ましくみております

■子ども達が元気に登校してくれること、学校を楽しみにしてくれることは何よりの喜びです。今後も、「子どもが行きたい学校」「保護者が行かせたい学校」を目指し、教職員一丸となり、努力していきます。

